



『恋する灯台』能生港灯台が立地する

糸魚川市・糸魚川市観光協会を「恋する灯台のまち」として認定

8月27日(土)に糸魚川市長・糸魚川市観光協会会長を表敬訪問 認定証を贈呈

海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団がオールジャパンで推進する「海と日本プロジェクト」の一環として、一般社団法人日本ロマンチスト協会（本部：長崎県雲仙市愛野町）と日本財団（東京都港区）が共同で実施している『恋する灯台プロジェクト』において、『恋する灯台』に選ばれた能生港灯台（新潟県糸魚川市）が立地している新潟県糸魚川市・糸魚川市観光協会を「恋する灯台のまち」として認定し、平成28年8月27日(土)に米田 徹市長・山下建夫糸魚川市観光協会会長を表敬訪問いたします。

未来を照らす灯台が、ふたりの道標になる。

【プロジェクト概要】

埋もれていた「灯台」の文化や歴史的価値を可視化し、各地域の**強力な観光資源**とするために、**灯台を『恋する灯台』という恋愛の聖地として認定し再価値化**するプロジェクト。『恋する灯台』というキーワードを軸に、地域が主体となって盛り上げていく機運を高め、灯台への集客アップを図る。

灯台を訪れることで、海へ関心をもつ人が増加することを最終目的として活動する。

当プロジェクトは、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団がオールジャパンで推進するプロジェクト「海と日本プロジェクト」の一環として推進している。



新潟県糸魚川市・糸魚川市観光協会を『恋する灯台』のある「恋する灯台のまち」として認定

当プロジェクトでは、『恋する灯台』の立地する自治体を「恋する灯台のまち」として認定し、『恋する灯台』を地域の活性化に役立てるサポートをいたします。「恋する灯台のまち」として認定することによって、地域が主体となって観光を盛り上げていく流れを起こしてまいります。

今回、『恋する灯台』として認定された能生港灯台の所在地である新潟県糸魚川市・糸魚川市観光協会を、「恋する灯台のまち」として認定しました。平成28年8月27日(土)に日本ロマンチスト協会会長の波房克典が糸魚川市の米田 徹市長・山下建夫糸魚川市観光協会会長を表敬訪問し、認定証を贈呈いたします。後日『恋する灯台』を地域の観光資源として活用するための、『恋する灯台』を起点とした観光コースづくりワークショップを開催します。

【表敬訪問について】

日時：平成28年8月27日(土)9:30～10:00

場所：奴奈川姫と大ウスまつり会場

新潟県糸魚川市能生 弁天浜～道の駅 マリンドリーム能生

能生港灯台『恋する灯台』選定理由

能生港灯台が立つ弁天岩には陸から橋が架けられ、その赤い欄干と白い灯台、島を装う松の緑色が絶妙のコントラストを見せている。近くには、弁天岩と防波堤に守られた遠浅で波も穏やかな砂浜があり、澄んだ岩礁地帯の海に沈む夕日も美しい。鳥居の後ろに立つ灯台の姿は決して大きくはないが、漁港に出入りする漁船と砂浜で楽しむ恋人たちを静かに見守るロマンティックな道標である。

【海と日本プロジェクトとは】

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクト。

【日本ロマンチスト協会とは】

「地球環境や世界平和も大事ですが、ロマンチストという“大切な人を世界で一番幸せにできる人”が増えると、夫婦環境や恋人環境ばかりか、社会全体が豊かになるかもしれない」、ということに気がついたトキメク大人たちが始めた秘密結社。

長崎県雲仙市愛野町を「ロマンチストの聖地」として本部を設置し、2008年5月より活動を開始。2008年6月19日に「ロマンスの日」を制定。「ジャガイモ畠の中心でロマンスを叫ぶ」、「愛の聖地復興プロジェクト」など、数々の話題を巻き起こし、活動を拡大中。現在、クリエイターやアナウンサー、タレント等の放送文化人、経営者などの財界人を中心に約1600名(2016年6月現在、)の会員組織として活動中の一般社団法人。

【本件に関するお問い合わせ先】

日本ロマンチスト協会『恋する灯台プロジェクト』運営事務局

Mail : toudai@japan-romance.com

URL : <http://romance-toudai.uminohi.jp/>